

2025 年 1 月 15 日

関係各位

マネックス証券株式会社
TradeStation Securities, Inc.

第 32 回「MONEX グローバル個人投資家サーベイ 2024 年 12 月調査」

～トランプ大統領の再選を受けたマーケットの見通し～

マネックス証券株式会社（本社：東京都港区、取締役社長執行役員：清明祐子）は、グループ会社である TradeStation Securities, Inc.（本社：米国フロリダ州、Peter Korotkiy、President）と共同で 2024 年 12 月 12 日から 12 月 19 日の間に第 32 回「MONEX グローバル個人投資家サーベイ」を実施しました。

今回は 2025 年の日米株価高値・安値予想に加え、リスク回避の必要性について日米個人投資家に調査を行っており、また生成 AI や暗号資産への関心についても伺いました。

調査対象の日経平均株価は、8 月初旬の急落後に持ち直したものの 4 万円を手前にもみ合いの展開となりました。一方ダウ平均株価は高値追いの展開を続け、12 月に一部構成銘柄の調整によって上値が重くなりましたが、S&P500 指数やナスダック総合指数は最高値圏で本年を終えようとしています。

そのような環境下で行った調査結果によると、世界株について日本の投資家は楽観が増加、米国の投資家は楽観が減少したものの、DI は共にプラス圏となっております。日米投資家ともに米国株に対する期待値が高く、予想値では米国の投資家より日本の投資家の方が相対的に保守的な見通しとなりましたが、リスク回避については 65%近い米国の投資家が必要と見ている一方、日本の投資家では半数にも満たない結果となっております。

マネックス証券では日米株式市場の展望に加え、為替市場や金利、暗号資産の見通し、また重要経済指標についての解説などタイムリーに情報を発信してきました。選挙イヤーと呼ばれる 2024 年を終え、2025 年は各国で新たな政治が動き出すなか、リスク回避に資する分散投資戦略を含め、よりよい情報発信ができるよう精進していく所存です。引き続き皆様の投資対象の選定や投資行動、成果向上がなされるよう努めてまいります。

(2024 年 12 月 26 日執筆)

1. グローバル調査結果 調査対象：日本・米国の個人投資家

世界の株式市場見通し DI^(注) は米国の個人投資家においては下落
[参照：別紙レポート 2 ページ グラフ 1]

日本と米国の個人投資家に今後 3 か月程度の世界の株式市場に対する見通しをたずねたところ、日本の個人投資家の DI は前回調査（2023 年 12 月実施）と比較して上昇した一方で、米国の個人投資家においては下落しました。

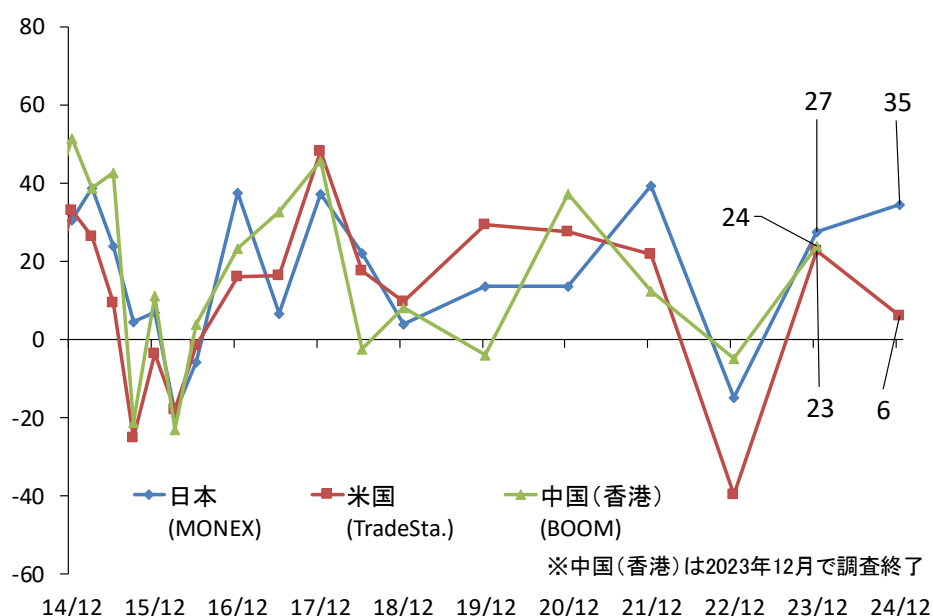
【世界の株式市場見通し DI】

日本：（2023 年 12 月）27→（2024 年 12 月）35（前回比 8 ポイント）

米国：（2023 年 12 月）23→（2024 年 12 月）6（前回比 -17 ポイント）

グラフ1:個人投資家の世界の株式市場に対する見通し(三地域のDI推移)

(日本、米国、中国(香港)の個人投資家)



(出所)マネックス証券作成

(注) DI (diffusion index) : 「上昇すると思う」、「よくなると思う」と回答した割合 (%) から「下落すると思う」、「悪くなると思う」と回答した割合 (%) を引いたポイント

日本・米国の個人投資家ともに米国マーケットへの期待が最も高い割合に
[参照：別紙レポート 3 ページ グラフ 2-1]

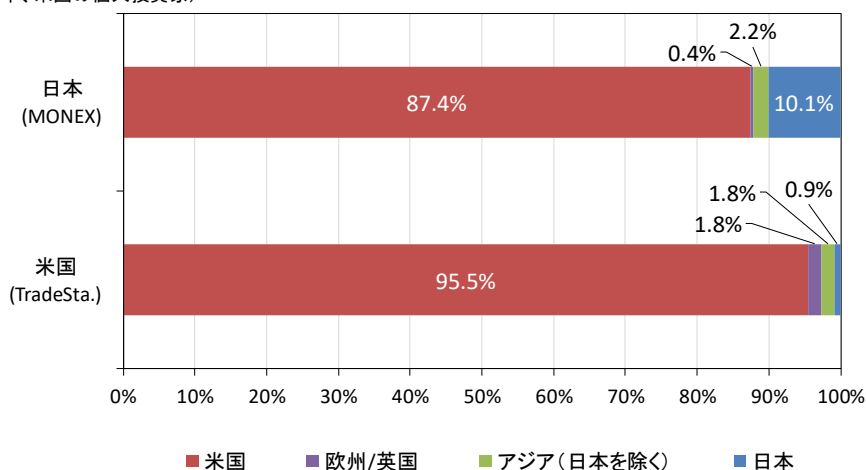
日本の個人投資家と米国の個人投資家ともに「米国」と回答した割合が最も高くなりました。特に米国の個人投資家の米国への期待は 95% 超となっております。

【今後3か月のマーケットへの期待度】

日本 米国：87.4%、欧州/英国：0.4%、アジア（日本を除く）：2.2%、日本：10.1%
 米国 米国：95.5%、欧州/英国：1.8%、アジア（日本を除く）：1.8%、日本：0.9%

グラフ2-1: 今後3か月で、どの地域のマーケットが上昇するか(各地域の回答内訳)

(日本、米国の個人投資家)



(出所)マネックス証券作成

2025年の米国マーケット予想、ダウ平均株価の高値予想は45,000ドル以上49,000ドル未満が最多

[参照：別紙レポート 5,6 ページ グラフ 3-1、3-2、3-3、3-4]

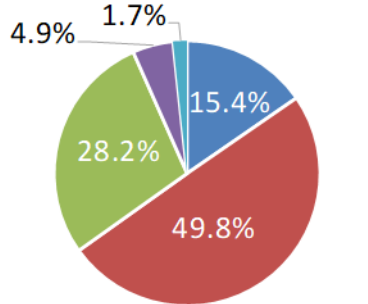
日本と米国の個人投資家に2025年のダウ平均株価とNASDAQ総合指数の高値予想、安値予想をたずねたところ、2025年のダウ平均株価の高値予想については日本の個人投資家と米国の投資家ともに「45,000ドル以上49,000ドル未満」と回答した投資家の割合が最も高くなりました。また、2025年のNASDAQ総合指数の高値予想については日本の個人投資家と米国の投資家ともに「21,000ポイント以上23,000ポイント未満」と回答した投資家の割合が最も高くなりました。

(【参考】2025年1月8日のダウ平均株価終値：42,635.20ドル、NASDAQ総合指数終値：19,478.88ポイント)

【ダウ平均株価】

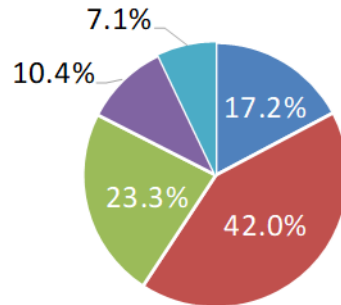
グラフ3-1: 2025年ダウ平均株価高値予想

【日本の投資家】



- 45,000ドル未満
- 45,000ドル以上49,000ドル未満
- 49,000ドル以上53,000ドル未満
- 53,000ドル以上57,000ドル未満
- 57,000ドル以上

【米国の投資家】

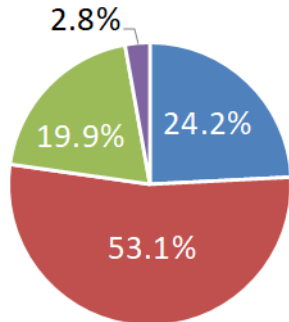


- 45,000ドル未満
- 45,000ドル以上49,000ドル未満
- 49,000ドル以上53,000ドル未満
- 53,000ドル以上57,000ドル未満
- 57,000ドル以上

(出所)マネックス証券作成

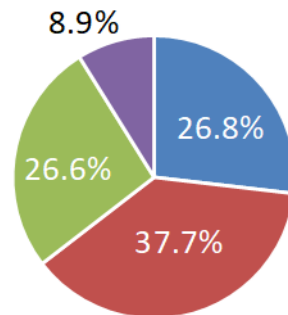
グラフ3-2: 2025年ダウ平均株価安値予想

【日本の投資家】



- 39,000ドル未満
- 39,000ドル以上42,000ドル未満
- 42,000ドル以上45,000ドル未満
- 45,000ドル以上

【米国の投資家】



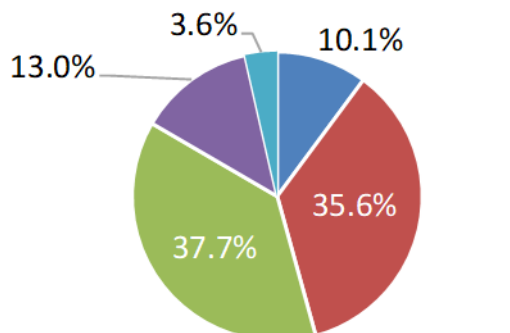
- 39,000ドル未満
- 39,000ドル以上42,000ドル未満
- 42,000ドル以上45,000ドル未満
- 45,000ドル以上

(出所)マネックス証券作成

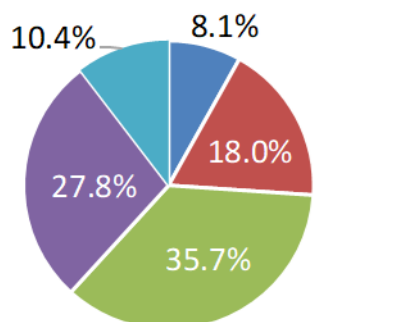
【NASDAQ 総合指数】

グラフ3-3: 2025年NASDAQ総合指数高値予想

【日本の投資家】



【米国の投資家】



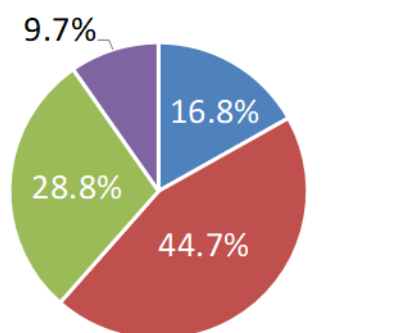
- 19,000ポイント未満
- 19,000ポイント以上21,000ポイント未満
- 21,000ポイント以上23,000ポイント未満
- 23,000ポイント以上25,000ポイント未満
- 25,000ポイント以上

- 19,000ポイント未満
- 19,000ポイント以上21,000ポイント未満
- 21,000ポイント以上23,000ポイント未満
- 23,000ポイント以上25,000ポイント未満
- 25,000ポイント以上

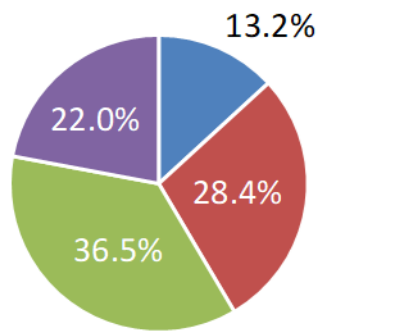
(出所)マネックス証券作成

グラフ3-4: 2025年NASDAQ総合指数安値予想

【日本の投資家】



【米国の投資家】



- 15,000ポイント未満
- 15,000ポイント以上17,000ポイント未満
- 17,000ポイント以上19,000ポイント未満
- 19,000ポイント以上

- 15,000ポイント未満
- 15,000ポイント以上17,000ポイント未満
- 17,000ポイント以上19,000ポイント未満
- 19,000ポイント以上

(出所)マネックス証券作成

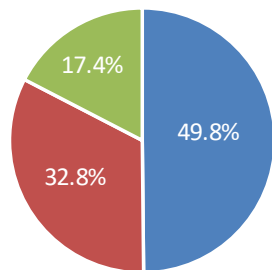
リスク回避の必要性について日本の投資家はやや楽観的

[参照: 別紙レポート 8 ページ グラフ 4-1]

日本と米国の個人投資家に現在の市場環境においてリスク回避をある程度行う必要があると思うかをたずねたところ、米国の個人投資家はリスク回避の必要性が「ある」との見方が6割以上ある一方、日本の個人投資家は5割を下回っています。

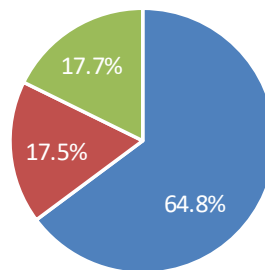
グラフ4-1: リスク回避の必要性があると思うか

【日本の投資家】



■ 思う ■ 思わない ■ わからない

【米国の投資家】



■ 思う ■ 思わない ■ わからない

(出所) マネックス証券作成

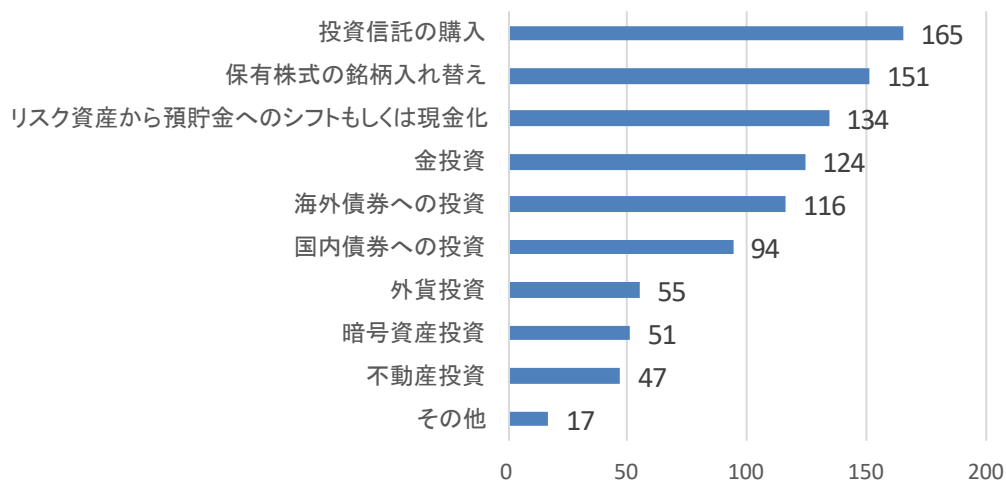
日本・米国の個人投資家の具体的なリスク回避策

[参照: 別紙レポート 8,9 ページ グラフ 5-1、5-2]

2024 年中にリスク回避策を実行したと回答した日本と米国の個人投資家に具体的なリスク回避策をたずねたところ、日本の個人投資家のリスク回避策は投資信託の購入を始めとして様々な選択肢に分散している印象です。一方で米国の個人投資家は預貯金・現金へのシフトが他の選択肢を抑えて最多となりました。

【日本の個人投資家】

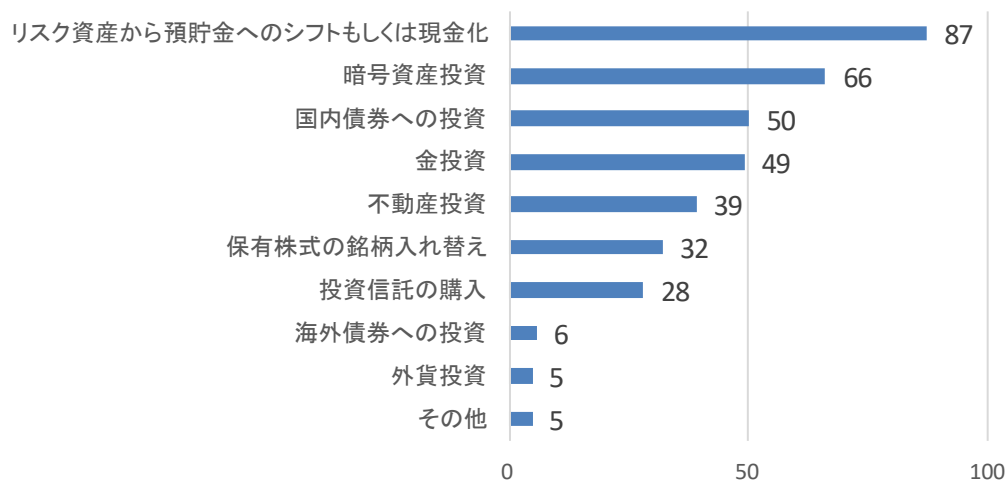
グラフ5-1: 具体的にどんなリスク回避策を実行したか



(出所) マネックス証券作成

【米国の個人投資家】

グラフ5-2: 具体的にどんなリスク回避策を実行したか



(出所)マネックス証券作成

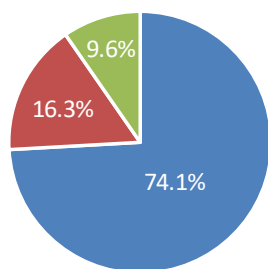
トランプ大統領の再選を受けた市場の見通し

[参照：別紙レポート 9,10 ページ グラフ 6-1、6-3]

日本と米国の個人投資家にダウ平均株価と米国10年物国債利回りがトランプ大統領の再選を受けてどう変化すると思うかをたずねたところ、日本の個人投資家と米国の個人投資家ともにダウ平均株価はトランプ大統領の再選を受けて「上昇すると思う」という回答が最多で約7割を占めています。一方で米国10年物国債利回りについては「上昇」「変わらない」「下落」それぞれの見方が拮抗する結果となりました。

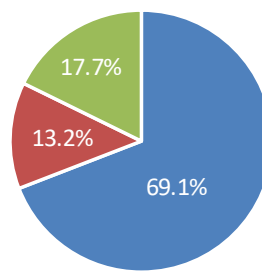
グラフ6-1: トランプ大統領の再選を受けてダウ平均株価はどうか

【日本の投資家】



- 上昇すると思う
- 変わらないと思う
- 下落すると思う

【米国の投資家】

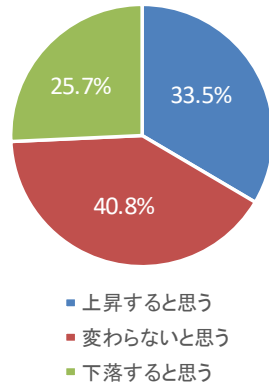


- 上昇すると思う
- 変わらないと思う
- 下落すると思う

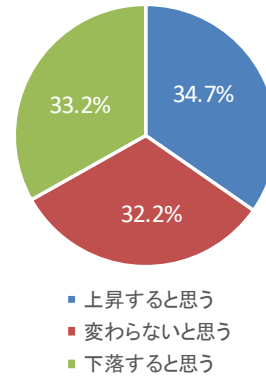
(出所)マネックス証券作成

グラフ6-3: トランプ大統領の再選を受けて米国10年物国債利回りはどう変化するというか

【日本の投資家】



【米国の投資家】



(出所)マネックス証券作成

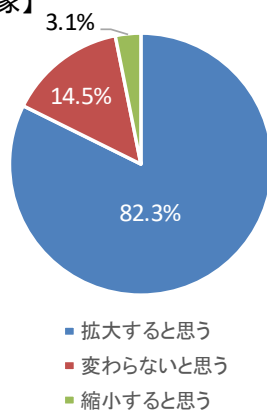
日本・米国の個人投資家ともに 2025 年の生成 AI 市場は拡大するとの見方が最多

[参照：別紙レポート 11 ページ グラフ 7]

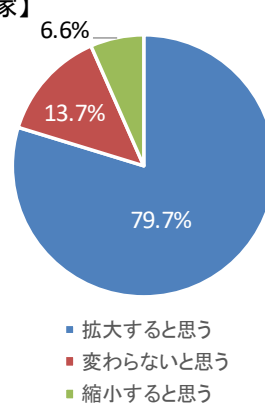
日本と米国の個人投資家に 2025 年の生成 AI 市場はどう変化するというかをたずねたところ、日本の個人投資家と米国の個人投資家ともに「拡大すると思う」という回答が約 8 割となりました。

グラフ7: 2025年の生成AI市場はどう変化するというか

【日本の投資家】



【米国の投資家】



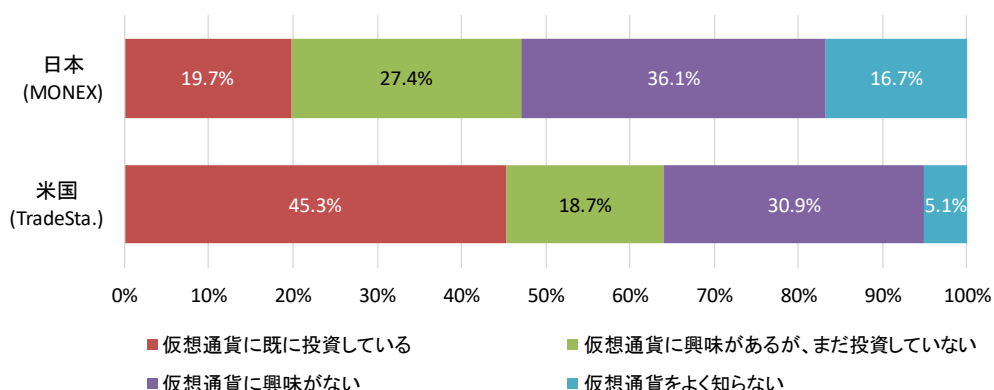
(出所)マネックス証券作成

日本の投資家の暗号資産投資への関心は米国の投資家比べてまだ低い

[参照：別紙レポート 11 ページ グラフ 8-1、8-2]

日本と米国の個人投資家に暗号資産（仮想通貨）への投資経験や意欲についてたずねたところ、既に暗号資産に投資している個人投資家の割合は日本が 19.7%、米国が 45.3%となりました。特に日本の投資家においては「興味が無い」、「よく知らない」という割合が多く、投資対象としての関心はまだ低い印象です。

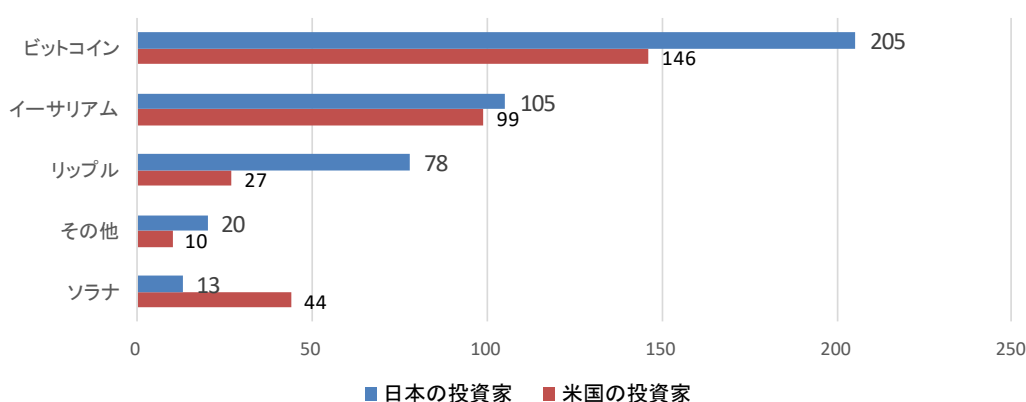
グラフ8-1: 暗号資産(仮想通貨)への投資に対する関心度合い



(出所)マネックス証券作成

既に投資していると回答した個人投資家に具体的な銘柄をたずねたところ、日本と米国ともにビットコインが最多、イーサリアムが次ぐ結果となりました。選択肢のうちソラナは日本での回答数は少ないものの、米国においてはリップルを上回る回答数となりました。

グラフ8-2: 投資している暗号資産(仮想通貨)



(出所)マネックス証券作成

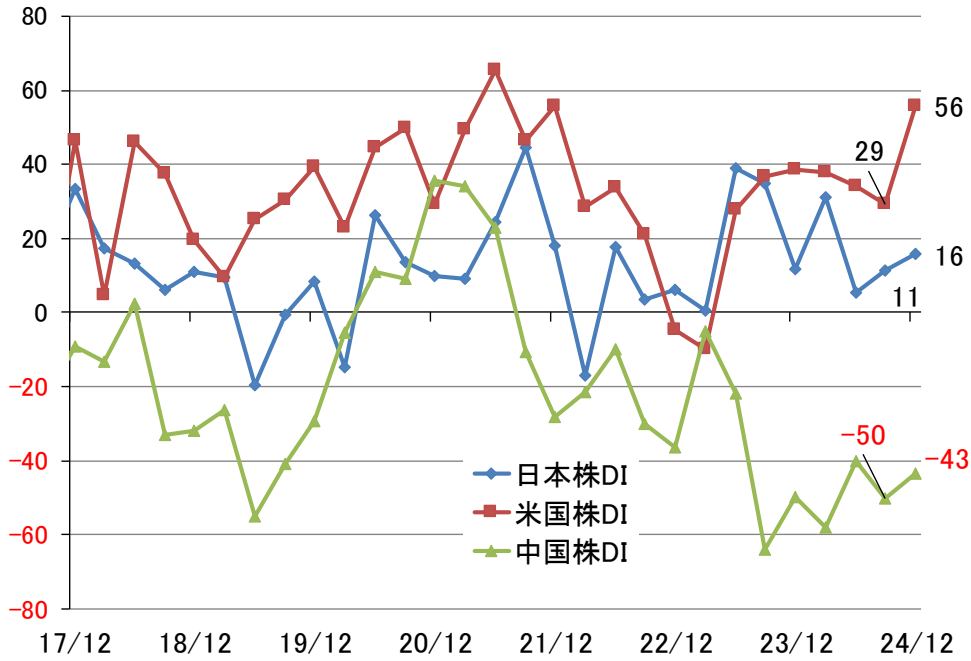
2. 日本限定の調査結果(四半期に1回) 調査対象: 日本の個人投資家

今後3か月程度の株価予想は日本株・米国株・中国株全てのDIが上昇
[参照: 別紙レポート 12,13 ページ グラフ 9-1、9-2]

日本の個人投資家に今後3か月程度の各国(日本、米国、中国)株価の見通しをたずねたところ、日本株・米国株・中国株全てのDIが上昇しました。特に米国株のDIは+27ポイントと大きく上昇しています。

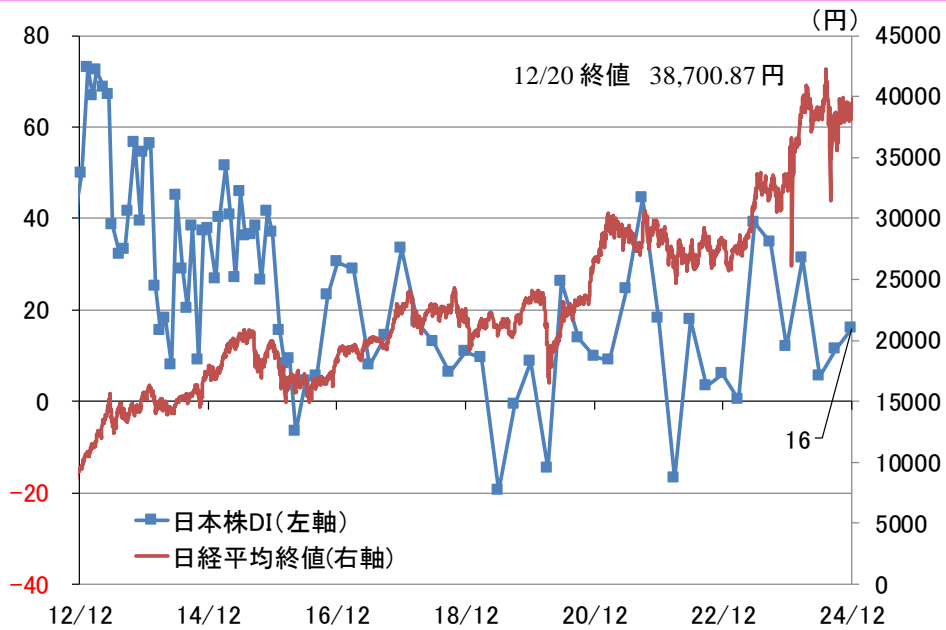
- 【日本株 DI】(2024年9月) 11 → (2024年12月) 16 (前回比 +5ポイント)
- 【米国株 DI】(2024年9月) 29 → (2024年12月) 56 (前回比 +27ポイント)
- 【中国株 DI】(2024年9月) -50 → (2024年12月) -43 (前回比 +7ポイント)

グラフ9-1: 今後3か月程度の株価予想



(出所)マネックス証券作成

グラフ9-2: 日経平均株価(終値)と日本株DIの推移



(出所)マネックス証券作成

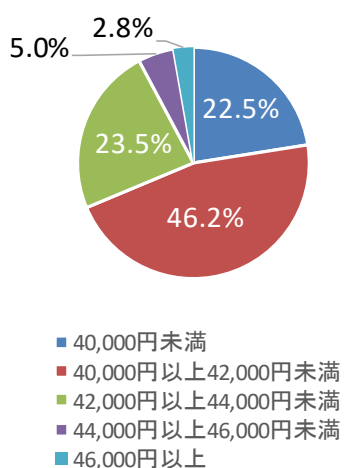
日経平均株価の高値予想は 40,000 円以上 42,000 円未満が最多で 46.2%

[参照：別紙レポート 14 ページ グラフ 10-1、10-2]

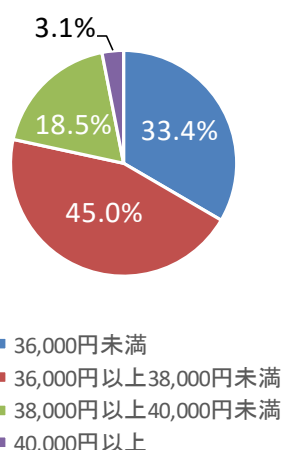
2025 年の日経平均株価の高値および安値の予想をたずねたところ、高値予想は「40,000 円以上 42,000 円未満」が最多で 46.2%となりました。安値予想は「36,000 円以上 38,000 円未満」が最多で 45.0%となっています。

【参考】2025 年 1 月 8 日の日経平均株価終値：39,981.06 円

グラフ10-1: 2025年日経平均株価高値予想



グラフ10-2: 2025年日経平均株価安値予想



(出所)マネックス証券作成

・ 調査結果の詳細は添付の別紙レポートを参照ください。

(グラフの数値は、小数点以下の計算により合計が必ずしも 100.0%とならない場合があります。)

以 上

第 32 回「MONEX グローバル個人投資家サーベイ」の実施

日本と米国における調査の実施概要は次のとおりです。

| | 日本 | 米国 |
|------|--------------------------------|--------------------------------|
| 調査期間 | 2024 年 12 月 12 日～ 12 月 19 日 | 2024 年 12 月 12 日～ 12 月 19 日 |
| 回答数 | 1,236 件 | 395 件 |

「MONEX グローバル個人投資家サーベイ」について

マネックス証券は 2009 年 10 月より、個人投資家を対象として相場環境についての意識調査のアンケートを実施し「MONEX 個人投資家サーベイ」として提供しております。2011 年 6 月から 2023 年 12 月まではマネックス証券、TradeStation Securities, Inc.および Monex Boom Securities (H.K.) Limited の 3 社共同で「MONEX グローバル個人投資家サーベイ」を実施し、日本、米国および中国（香港）の個人投資家の相場環境についての意識を定点観測してきました。2024 年 12 月からはマネックス証券と TradeStation Securities, Inc.の 2 社で日本と米国の個人投資家の相場環境についての意識調査を行います。

※ Monex Boom Securities (H.K.) Limited がマネックスグループの特定子会社ではなくなったことに伴い、中国（香港）の個人投資家を対象とした調査は 2023 年 12 月をもって終了いたしました。

【マネックス証券でのお取引に関する重要事項】

マネックス証券が扱う商品等には、価格変動等により元本損失・元本超過損が生じるおそれがあります。

投資にあたっては、契約締結前交付書面、目論見書の内容を十分にお読みください。

【マネックス証券株式会社について】

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 165 号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人 第二種金融商品取引業協会

一般社団法人 金融先物取引業協会、一般社団法人 日本暗号資産等取引業協会、

一般社団法人 日本投資顧問業協会